

令和 7 年度 三好市立学校評価報告書

学校名(三好市立辻小学校)

作成日 令和8年3月23日

1 総括評価

評価分野	自己評価 (平均値)	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	3.8	学校教育目標を明確に示し、組織的に学校運営に取り組むことができた。また、課題に対して迅速に情報共有を図り、早期解決できるようにした。	○児童の読書時間の減少が課題と感じる。読み聞かせや保護者による司書ボランティアの活動を今後も継続することが望ましい。 ○読書関連の地域イベントも催されているので、参加を呼びかけてみるとよい。 ○テレビやゲーム視聴時間の増加に伴う視力低下等、健康面への影響が心配される。家庭と連携し、生活習慣の確立を進めていくのが望ましい。 ○朝夕の挨拶をしっかりする児童が増えてきている。	○子供たち一人一人が安心して学校生活を送ることができるよう、日常の様子や思いに気を配るとともに、道徳・人権教育の充実を図り、互いを尊重し合う集団づくりを進める。 ○地域ボランティアによる読み聞かせや、保護者による司書ボランティアを継続依頼するとともに、学級や学校全体で読書の楽しさを味わう活動を工夫する。 ○メディアの活用やゲームに関する課題については、保護者と連携し、心身の健全な成長につながる生活習慣の確立に向けて取り組んでいく。
② 教育目標及び教育計画に関する評価	3.5	教職員だけでなく、保護者や学校関係者と目標を共有し、教育目標達成に向けて協働体制を構築できるようにした。		
③ 主要な教育活動に関する評価	3.4	授業力向上研修を行い、個別最適・協働的な学びが充実に向けて取り組むことを通して、児童の学力向上をめざした。		
④ 保護者や地域との連携に関する評価	3.4	教育活動の様子を積極的に発信することで、PTA協働体制の整備に努めた。また、学校支援ボランティア人材を活用することで、教育活動の充実につなげた。		
⑤ その他、上記以外に関する評価(特別支援の取組)	4.0	保護者や関係機関と連携し、個別の教育支援計画を立てるとともに、教職員間で共通理解を図り、それぞれのニーズに応じた支援が充実するよう努めた。		

(1) 4段階評価とする。

評価基準 4=達成度が 80~100 %
 3=達成度が 50~ 80 %
 2=達成度が 30~ 50 %
 1=達成度が 30% 未満

(2) 総括評価表の「評価(平均値)」については、「2 分野別評価」の(1)~(5)の評価をそれぞれ平均(小数第1位)したものとす。

(3) 分野別評価の「評価項目」の「その他」については、各学校において必要事項を記入のうえ評価する。

(4) 総括評価の「評価分野-その他」の項目の()には、分野別評価の「(5) その他に関する評価」の中から、特に重要視する事がらを記入する。

(5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は、学校関係者評価委員会(学校運営協議会も可)において評価された結果をまとめたものを記入する。

(6) 「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議された改善策をまとめたものを記入する。